

アルベルトーネ教授講演会のお知らせ

京大人文研・2009年9月3日

みなさま、

残暑厳しい折柄、いかがおすごしでしょうか。今回は、イタリア・トリノ大学教授で、フィジオクラット（重農主義者）やコンドルセについての研究で知られるマヌエラ・アルベルトーネさんの来日に際して、京都大学人文科学研究所で開催される講演会のお知らせです。この講演会は、アルベルトーネさんを招聘された、福山市立女子短期大学教授・堀田誠三さんのご厚意によって実現するものです。講演の内容は、特にフィジオクラットの政治論をモンテスキュー批判の側面に焦点を当てて論じるものとなる予定です。なお、講演はフランス語で行ない、日本語の通訳を付します。みなさま、新学期開始前のお忙しい時期とは思いますが、ふるってご参加をいただきたく、お知らせを差しあげます。なお、講演会後にはささやかな懇親会を予定しておりますので、そちらにも気軽に参加していただければ幸いです。

京都大学人文科学研究所・王寺賢太

記

マヌエラ・アルベルトーネ トリノ大学教授 講演
「フィジオクラットの考察における権力分立の観念」
« La notion de séparation des pouvoirs
dans la réflexion des auteurs physiocratiques »
(講演フランス語・日本語通訳付き)

日時 2009年9月3日(木) 15:00~18:00

場所 京都大学人文科学研究所(新本館・旧工学部五号館)一階102セミナー室

連絡先 京都大学人文科学研究所 王寺賢太
(075-753-6920/kentao@zinbun.kyoto-u/ac.jp)